

事業所名

ゆい

支援プログラム

作成日

R8

年

3

月

31

日

法人（事業所）理念		結(ゆい) 人と人とのつながりを大切に、未来に人と人をつなげていく。					
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> 1 私たちは、利用者、またその家族の声に常に耳を傾け、一人一人により満足いただける支援を提供します。 2 私たちは、常に自己研鑽し、福祉職員としての自覚を持ち、連携して、より質の高い支援を提供します。 3 私たちは地域の福祉、医療その他関係機関と、地域福祉の未来のために連携していきます。 					
営業時間		9 時	30 分	18 時	00 分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な健康状態の把握、適切なケア・管理を行います。また、必要に応じて医師・その他関係機関と連携を図ります。 ・本人の小さなサインや異変に気付けるよう入浴時や排泄介助時などに細やかな観察を行います。 ・睡眠、食事、排せつ等の生活リズムを身につけることができるよう支援します。 ・障害の特性に配慮し、安心して行動できるように生活環境を整えます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、関節の拘縮や変形の予防のための活動・リハビリを行います。 ・日中活動を通して、保有する視覚・聴覚等の感覚を十分に活用出来るよう支援します。 ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの会などにおいて、天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成につなげたり、周りの行動、状況把握の獲得に努めます。 ・感覚遊びを通して、感覚の発達を促す支援を行います。 ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出や制作活動の支援を行います。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや指差し・身振り・サイン・スキンシップ等様々な代替手段を活用して、周囲の状況を理解したり、自分の気持ちを伝えることをスムーズに行えるよう支援します。 ・ふれあいや言葉かけを通して、発語や発声を促し、意思の表出につなげます。 ・物の選択等を通して、意思決定の支援を行います。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを通して、環境や人に対する安心感、信頼感を育みます。その信頼関係を基盤として周囲の人との安定した関係を形成できるよう支援します。 ・一人一人の特性に応じて、気持ちや感情の調整ができるよう支援します。 ・遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。 					
家族支援		保護者様がお子さまの心身の発達状況やその特性を理解するプロセスに寄り添いながら、具体的な支援の方法を相談・共有し、お子さまとのよりよい関係性を育めるよう後押しします。更に、兄弟の状況の把握に努め、ご家族様の気持ちにも寄り添いながら支援します。		移行支援		学校や他の事業所と連携しながら、一貫性のある支援、切れ目のない支援を目指します。お子さまが地域のそれぞれの場で生き生きと生活できるよう支援します。	
地域支援・地域連携		他施設との交流や、医療機関をはじめとする関係機関との連携を図り、地域で安心して過ごせるよう環境を作っていきます。		職員の質の向上		施設内外の各種研修への参加、定期的な職員会議の実施、職員主催の勉強会を行います。	
主な行事等		お花見、ひな祭り、夏祭り、運動会、誕生会、ハロウィンパーティ、クリスマス会、豆まき、卒園式					